

とちぎ 「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

交流事業を行いました

大田原市では小学生、中学生、高校生それぞれの年代で交流事業を行いました。

小学生交流事業は、岡山県井原市の小学生との交流を8月6日(土)～8日(月)の3日間、今年は大田原市の児童が井原市を訪問し、非常に暑い中での長旅ではありませんでしたが、疲れも見せず、元気に交流を深めることができました。

中学生交流事業は、ウエストコビナ市から生徒たちが来市し、8月3日(水)～10日(水)の8日間滞在し、日本の様々な文化を体験し、とても楽しそうに活動していました。最終日は、ホストファミリーの方たちと涙ながらのお別れをして、お互いの絆を深め合っていました。

高校生交流事業は、スコットランド・セントアンドリュース市の生徒が4名来市し、7月28日(木)～8月9日(火)の日程で中学生交流事業と同様に様々な体験をしました。また、大田原市の生徒4名をセントアンドリュース市に派遣し、日本とスコットランドそれぞれの地で、素晴らしい貴重な体験ができました。



三本槍の故事の再現

那須町では、平成28年度体験の風をおこそう運動として、「三本槍の故事の再現」が7月26日(火)～27日(水)に行われました。

三本槍岳の山名の由来でもある、会津藩、白河藩、黒羽藩の3藩が領地を確認するために、定期的に集まって槍を立てたと云われている故事があります。それを再現するために下郷町、西郷村、那須町の中学生同士が集まり、宿泊しての交流会や登山を行いました。

交流会では、それぞれの中学校ごとに生徒が自分たちの学校を紹介しました。登山では、三本槍岳の山頂にて、3町村の代表生徒が甲冑を身にまとい、かつて領地を確認したという故事を再現しました。

3町村合せて37名の生徒が故事を学び、それを再現する貴重な体験をしました。



新しい友だちと思い出をつくってきました

7月26日(火)～30日(土)の5日間、青少年健全育成事業「洋上北海道学習」が行われました。この事業に、那須塩原市内の小学6年生80名が参加しました。

子供たちは親元を離れ、日常とは違った船内での生活や、北海道の歴史・文化・雄大な自然を肌で感じながら学び、ひと回り成長して帰ってきました。

また、8月4日(木)～5日(金)の2日間、那須塩原市と埼玉県新座市との姉妹都市交流事業「ちびっこふるさと探検隊」が行われました。那須疏水と野火止用水が縁で始まったこの事業に、両市の小学5・6年生合わせて17名ずつが参加し、合計34名が参加しました。子供たちは、日常では味わえない那須塩原市での乗馬体験やキャニオニング体験等を共にしながら、親交を深め合いました。

今後は、それぞれの事業に参加した児童の代表が、11月に開催される「なすしおばら まなび博覧会(なすしお博)」で体験発表を行う予定です。



ふれあい学習推進セミナー

県教育委員会では、市町行政との連携によるふれあい学習を推進するため、「那須地区ふれあい学習推進セミナー」を実施しています。様々な研修を通して、那須地区の生涯学習・社会教育・生涯スポーツの振興・充実と活性化を図っています。

7月5日(火)には、第3回目のふれあい学習推進セミナーが開催され、大田原市スポーツ推進委員とスポーツ振興課の御指導で、ニュースポーツの実技研修が行われました。「スポーツチャンバラ」の体験では、参加者は皆、童心に返り、対戦相手と思う存分勝負をしていました。顔や頭部を守る面を着け、柔らかい刃を使用するので、誰でも安全に活動することができるニュースポーツでした。

このようなニュースポーツは、各市町のスポーツ振興課(グループ)で指導や用具の貸出しなどを行っています。詳しくは、各市町のスポーツ振興課(グループ)まで、お問い合わせください。

